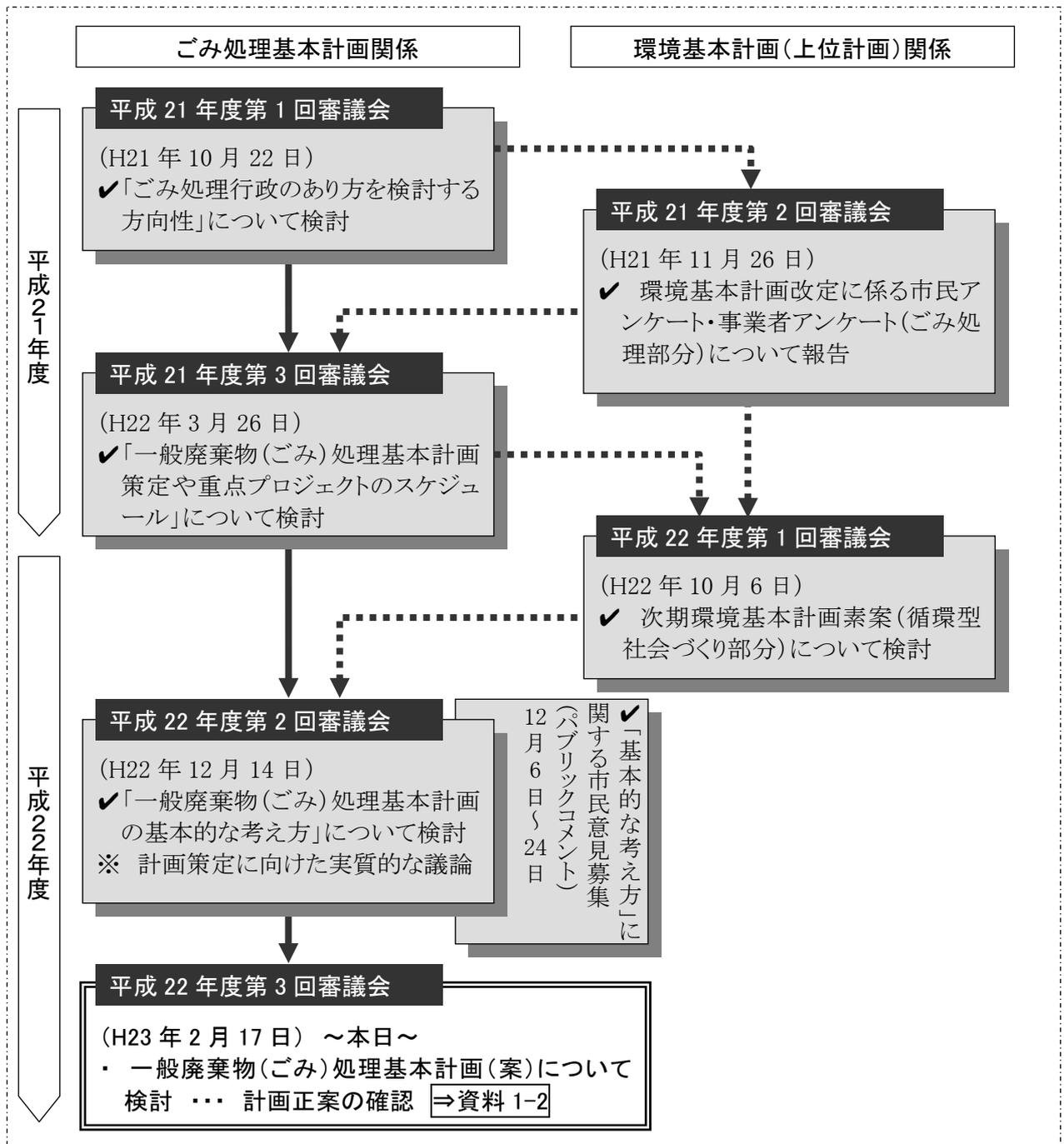


一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の取りまとめについて

1 これまでの経緯



2 パブリックコメントの結果概要

- ・ 5 人の方から 21 件の意見が提出された。 ⇒資料 1-3
- ・ 清掃センターの 1 場化については、賛成の立場での意見が多かったが、一部慎重な声もあった。
- ・ ごみ減量施策をさらに推進するべきという意見が多かった。
- ・ 施設での受付時間拡大など、窓口サービスの充実を求める声もあった。

3 計画取りまとめのポイント

- 昨年度審議会にお示した「ごみ処理行政のあり方を検討する方向性」や、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画や重点プロジェクトのスケジュール」に関する議論
- 前回審議会にお示した「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の基本的な考え方」に関する議論
- 「基本的な考え方」に対する市民意見募集(パブリックコメント)で寄せられた意見

などを踏まえ、次の点に留意しながら、計画書の取りまとめ(「基本的な考え方」に対する補足説明と肉付け)を行いました。

新たな「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」

- 本市のごみ処理行政が直面する最大の課題「人口減少と環境問題」に対する対応策を明示
- あるべき将来像と、その実現のための施策、達成度を測るための数値目標を位置づけ
- 循環型社会の形成を抽象的に目指すのではなく、発生・排出抑制の最優先や、焼却ごみ・埋立ごみの減量をターゲットとすることなど、施策展開の基礎となる具体的な考え方を明示
- 計画書のコンパクト化によりわかりやすさを追求(前計画書から概ね半分のページ数に圧縮)

4 今後の対応

⇒ 計画決定後、所定の手続きで公表するとともに、平成 23 年度以降展開する様々な減量施策の中で、「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」という、ごみ処理基本計画の考え方の浸透を図っていきます。

⇒ 毎年度策定する「ごみ処理実施計画」において、「将来世代に引き継ぐごみゼロいわき」の具現化に向けた各種事業を位置づけ、その推進を図っていきます。